

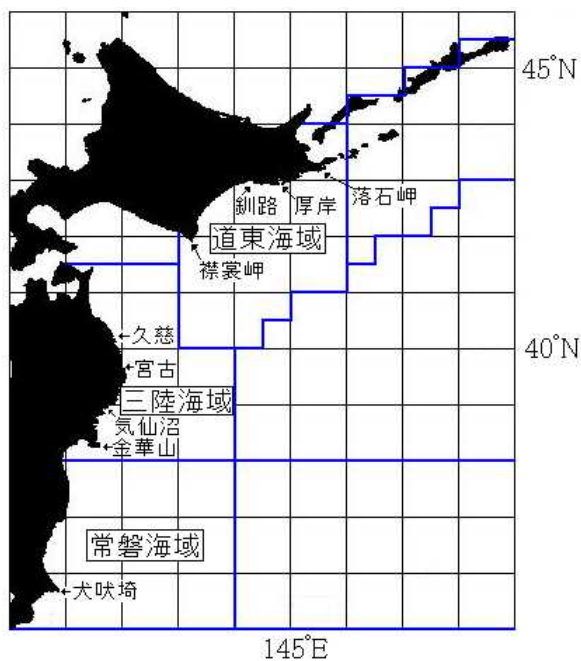
## 2019年度 第6回サンマ中短期漁況予報

－ 別表の水産関係機関が検討し一般社団法人漁業情報サービスセンターがとりまとめた結果 －

### 今後の見通し(2019年11月上旬～12月中旬)のポイント

#### 来遊量

- ・道東海域では、11月上旬は、断続的ではあるが魚群の来遊がある。
- ・三陸海域では、来遊があるが、来遊量は少ない。
- ・常磐海域では、11月中旬以降、断続的に来遊量がある。



海域の名称

### 問い合わせ先

一般社団法人漁業情報サービスセンター 漁海況部  
担当：渡邊、藤井  
電話：03-5547-6889、ファックス：03-5547-6881  
当資料のホームページ掲載先URL  
<http://www.jafic.or.jp/gyokaikyo/>

## 2019年度 第6回サンマ中短期漁況予報

### 1. 今後の見通し

予測期間：2019年11月上旬から12月中旬までの旬別

対象海域：道東海域、三陸海域、常磐海域

対象漁業：さんま棒受網漁業

対象魚群：南下回遊群

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

10月上旬に道東海域で漁場が形成され、沖合から少しではあるが魚群が来遊している。このため、11月上旬は断続的ではあるが、来遊がある。11月中旬以降は、魚群の来遊が少なく、終漁となる。

##### (2) 漁場

道東海域では、11月上旬に、落石南～厚岸南沖、および襟裳岬沖に散発的に漁場が形成される。11月上旬の主漁場は道東海域より東側の公海および花咲港東南東沖となる。道東海域では、11月中旬以降は、漁場は形成されない。

#### 2) 三陸海域

##### (1) 来遊量

11月上旬は、来遊は断続的である。11月中旬は低位水準で増加するが、11月下旬は減少する。12月上旬は来遊が断続的となり、終漁となる。多くの魚群は、三陸海域よりも東側を南下する。

##### (2) 漁場

11月上旬～中旬に三陸北部に、11月下旬～12月上旬に三陸南部に漁場が形成される可能性がある。主漁場は三陸沿岸から離れた沖合である。

#### 3) 常磐海域

##### (1) 来遊量

11月上旬は、来遊は無い。11月中旬～12月中旬は、来遊があっても少なく、断続的である。

##### (2) 漁場

11月上旬～中旬は、漁場は形成されない。11月下旬～12月中旬に常磐海域北部で漁場が形成される可能性があるが、散発的である。

### 2. 予測の概要

海 域		11月上旬	11月中旬	11月下旬	12月上旬	12月中旬
道東海域	来遊量	— →				
	動向	断続的				
	漁 場	落石南～ 厚岸南沖 襟裳岬沖				
三陸海域	来遊量					
	動向	— →	————→	————→	— →	
	漁 場	三陸北部	三陸北部	三陸南部	三陸南部	
常磐海域	来遊量					
	動向		— →	— →	— →	— →
	漁 場			常磐北部	常磐北部	常磐北部

### 3. 漁況の経過概要（10月中旬）

#### 1) 道東海域

##### (1) 来遊量

資源量指数から判断した道東海域における来遊量の水準は、前年を下回り、低位水準であった。日別CPUE（1網当たりの漁獲量）から判断すると、道東海域における来遊量は、期後半に減少した。

道東海域では、落石東南東40海里～厚岸南沖30海里に漁場が形成された。

道東海域より東側の海域においては、10月上旬よりも来遊量は増加したものの、来遊量は少なかった。

##### (2) 漁場

道東海域では、落石東南東40海里～厚岸南沖30海里（漁場水温11～12℃）が漁場となった。大型船数隻と小型船10隻程度操業。大型船で最高8トン、平均4トンの漁獲した。

主漁場は、道東海域より東側の4ヶ所で、花咲港東南東沖、花咲港東沖、落石東南東290～310海里、落石東370～430海里であった。

花咲港東南東沖（漁場水温12～16℃）では、大型船と小型船が操業。船間差が大きいものの、かなりまとまって漁獲した船もあった。

花咲港東沖（漁場水温13～16℃）では、大型船が数隻操業し、ややまとまって漁獲した船もあったが、船間差が大きかった。

落石東南東290～310海里（漁場水温11～12℃）では、大型船が数隻～20隻程度操業し、最高40トン、平均12トンの漁獲した。

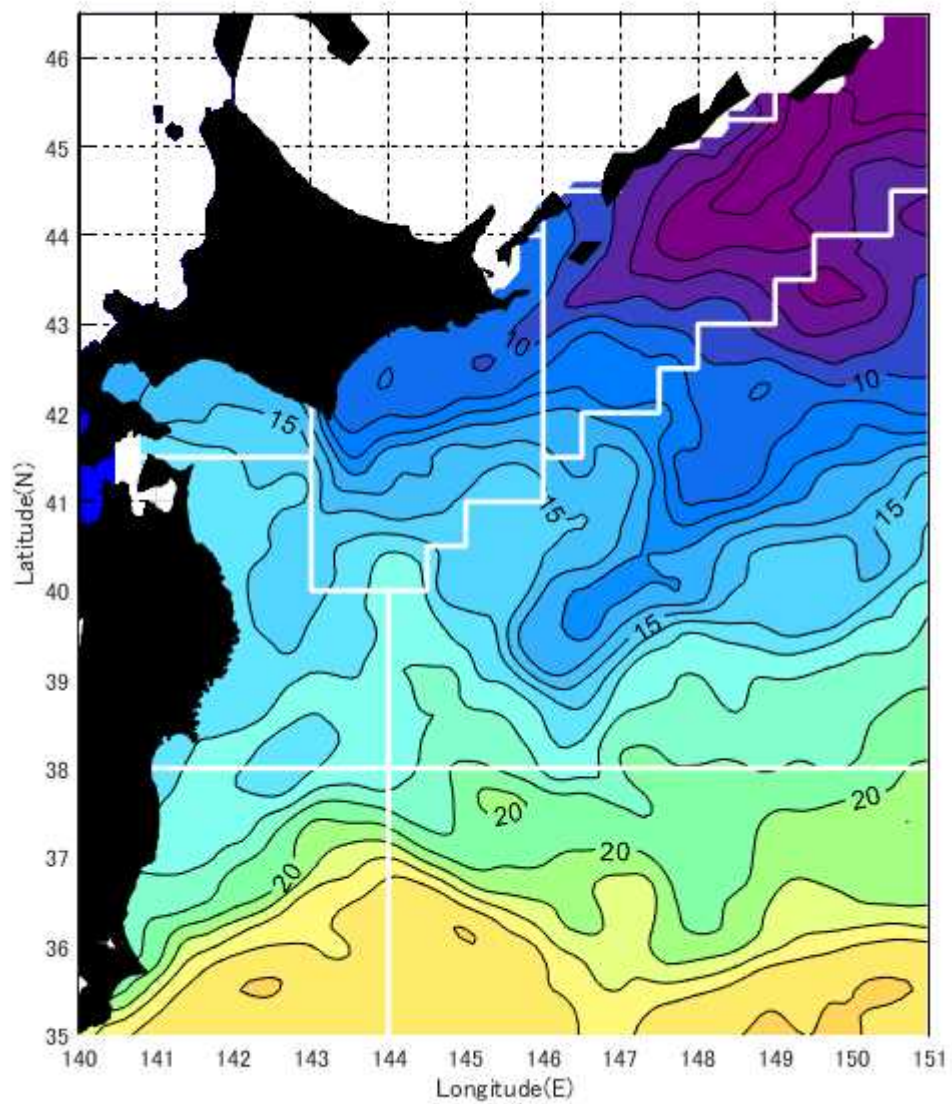
落石東370～430海里（漁場水温13～16℃）では、大型船が数隻～15隻程度操業し、最高59トン、平均22トンの漁獲した。

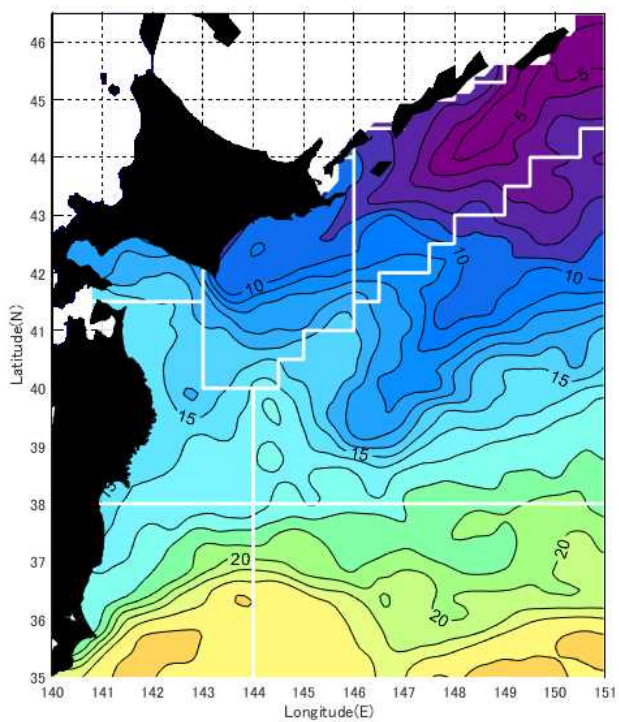
##### (3) 魚体

道東海域では、体長29～31cmモードと26cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は120～130g台が主体であった。道東海域よりも東側では、体長29～31cmモードであった。体長29cm以上の魚の体重は120～140g台が主体であった。

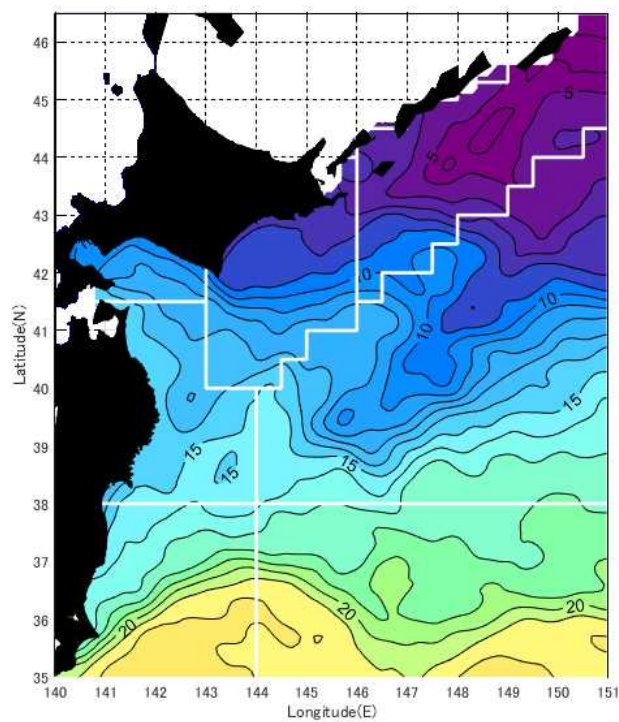
#### 4. 予測水温分布図

11月上旬予測表面水温分布図



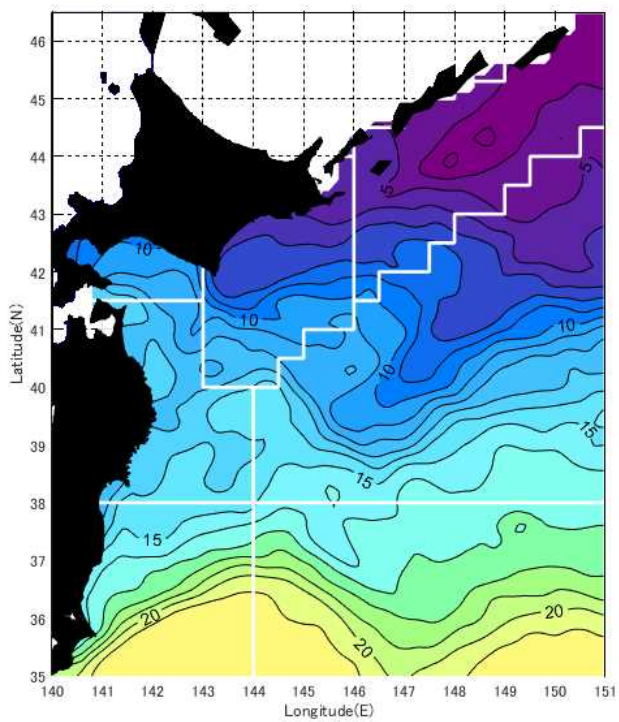


11月中旬予測表面水温分布图

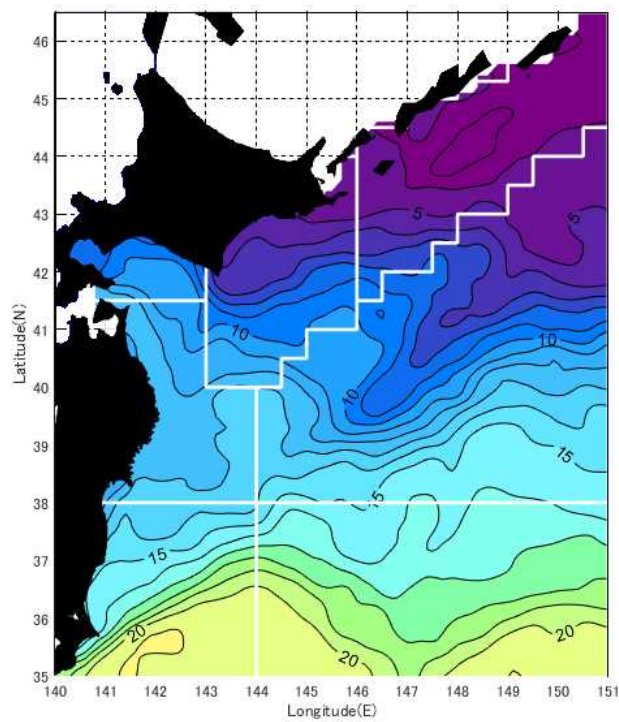


11月下旬予測表面水温分布图

12月上旬予測表面水温分布图



12月中旬予測表面水温分布图



## 参 画 機 関

<p>地方独立行政法人 北海道立総合研究機構 水産研究本部 釧路水産試験場</p> <p>岩手県水産技術センター</p> <p>宮城県水産技術総合センター</p> <p>福島県水産海洋研究センター</p>	<p>茨城県水産試験場</p> <p>千葉県水産総合研究センター</p> <p>国立研究開発法人 水産研究・教育機構 東北区水産研究所</p> <p>(取りまとめ機関) 一般社団法人 漁業情報サービスセンター</p>
--	--